



## ～とりあえず、トライしてみる！～

助教 長友奈央

皆様、こんにちは。私は、『とりあえずトライしてみよう！』をモットーにしています。そのため、学生生活では、「時間は限られているから、現地に行けるときに、経験できることはしておきたい。」と思い過ぎていました。1年生でアメリカ研修旅行、3年生でフィールドスタディーⅠ（フィリピン）、4年生で再びフィリピン、フィールドスタディーⅡ（タイ・ラオス）、加えて病院に研修に来られていた韓国（釜山）の大学生と交流を深め、友人と2人で釜山まで訪ねました。昨今のCOVID-19、戦争や紛争、災害など、世界の混沌とした現状を思うと、学生時代になんと豊かで有意義な日々を過ごさせてもらっていたのかと思いません。



\*健康教育（手洗い）\*

フィールドスタディーⅠでは、当時10名の学生が履修していました。はじめて共同生活したとは思えないくらい、譲り合い、支

えあいながら、笑いのたえない研修でした。カノッサ修道女会が運営しているヘルスセンターにおいて、ほぼ無償で活動している、コミュニティヘルスワーカーと行動を共にし、『どうしてここまで継続できるのか？』その人々の活動の継続要因と課題についてインタビューしたいと思い、4年生の卒業研究にしました。

その結果、カトリックの熱い信仰心はさることながら、住民と一緒に活動する使命感や地域への愛着、それぞれが地域をよくするために役割をもち、『自分たちでブリハン地区をよくしていくんだ。』という熱意と誇りを感じました。それから、2013年フィリピンレイテ島で大きな台風被害がありました。フィリピンに行った学生で話し合い、バザー・募金を企画しました。国家試験勉強の合間に全員で集まり、販売物品を集め、値段をつけ、掲示物の展示、呼びかけを行いました。個々の力は小さくても、限られた時間の中で、団結し、行動に移すことができていました。これらの経験から、素晴らしい仲間を得たとともに、それを寛大に見守り、導いてくださった先生方に大変感謝しております。臨床では、同じ日本人であっても年代や育ってきた地域、環境が異なりますから、外国人以上に困難に感じることもありました。在留外国人の外



\*バザー・募金活動\*

現在は、NGOやNPOに寄付し間接的にその活動の様子を知ること、WHOのホームページをチェックすること、新聞やアプリでBBC newsを読むことを心掛けています。これまでの経験や知識が何かに結びついたときは、とても大きな喜びを感じます。失敗することも多々あります。これからも、まずはトライしてみて、失敗しても行動を振り返って、新たな目標に向かって活動できたらと考えています。（写真提供：長友奈央）

